

2024年6月1日 発行

イオンコンパス株式会社  
流通視察ドットコム

↓その他情報はサイトにアクセス!

<http://www.ryutsu-shisatsu.com/>

## ■ ウォルマートが新PB商品を発表(5/1)

ウォルマート(Walmart)が新たなPB食料品を発表しました。名称は「bettergoods」で、冷凍食品、乳製品、スナック、飲料、パスタ、スープ、コーヒー、チョコレートなど約300の食料品アイテムが含まれるということです。ウォルマートにとって過去20年間で最大規模のPBラインとなり、プライスレンジは2ドル～15ドルですが、殆どの商品が5ドル未満に設定されています。特徴は①植物由来 ②調理体験 ③～を含まない(フリーフロム)の3点で、人工香料、着色料等食品添加物を一切使用せず、グルテンフリー、抗生物質フリーの食材で、健康的且つ調理を楽しめる商品ラインということです。

## ■ ダラーストア出店による影響は?(5/16)

米国農務省経済調査局(ERS)の最新の報告書によると、ダラーストアがアメリカの農村地区に出店すると、都市部の食料品店よりも大きな経済的打撃を受けているということです。この報告書によると、ダラーストアが農村地区の小売市場に参入すると、地元の独立系食料品店の売上高は平均9.2%減少し、都市部の平均4.7%に比べてその影響が約2倍となるということです。また、雇用も農村地区で7.1%減少し、都市部の2.3%に比べて大きな影響を受けているようです。更に、都市部ではダラーストア進出後約5年でその影響は弱まることが確認されているが、農村地区では5年後でもほとんどその影響に変化が見られないということで、農村地区へのダラーストア出店による影響の大きさが分かります。

## ■ ウォルマート富裕層取り込んで好調(5/20)

ウォルマートの2025年度第1四半期(4月末締め)の決算が報告され、4月30日までの3か月間の連結売上高は1,615億ドルで、前年同期比6%増、グローバルなeコマース売上高は21%増と堅調な結果となりました。この好結果の大きな要因のひとつは、高所得層のシェアの拡大にあるようです。2023年12月に配信した弊社メールマガジン「パンデミックとグロサリー小売の変遷(<http://www.ryutsu-shisatsu.com/17014204468091>)」でも触れましたが、パンデミック(新型コロナ)と高インフレという環境下において、消費者の特定の小売企業へのロイヤルティの低下という現象が起き、それまでウォルマートに見向きもしなかった年収10万ドル以上の富裕層の実に75%が、このインフレ下でウォルマートでの買い物をしたというデータが報告されていましたが、まさに最新のウォルマートの決算に数字として表れた結果となりました。